

シンポジウム 東京五輪文化プログラムにおける 沖縄文化の可能性

～五輪文化プログラムとは？期待される沖縄の役割～

スポーツの祭典であると同時に「文化の祭典」でもある「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」。2016年秋から4年間で20万件、全国で展開予定の文化プログラムにおける、沖縄の可能性と役割を探る。

基調講演

「文化プログラムの実施に向けた文化庁の取組について

～2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を契機とした文化芸術立国の実現のために～

文化庁 文化プログラム推進企画官 富田大志

パネルディスカッション

「沖縄文化は東京五輪に向け、なにができるか？」

2016年2月11日(木・祝)

開場 13:30 開演 14:00～16:30

会場：パレット市民劇場
那覇市久茂地1-1-1 パレットくもじ9F

参加費無料
定員200名



シンポジウム

14:00～ 基調講演 文化庁 富田大志

14:30～ 休憩

14:40～ パネルディスカッション

パネリスト

富田大志 (文化庁 文化プログラム推進企画官)

太下義之 (三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

石綿祐子 (アーツカウンシル東京 オリンピック文化戦略担当)

下山 久 (りっかりっか*フェスタ総合プロデューサー)

主催：ブルームーンパートナーズ株式会社

支援：沖縄県、(公財) 沖縄県文化振興会